

なんだ坂 こんだ坂

国分寺崖線が東西に走る玉川地区は、坂とは切っても切れない関係にあります。中には「何もこんなに急な坂にしなくていいじゃないか」と、言いたくなる坂もあります。お酒を飲んだ後に上ると一気に酔いが回る坂もあります。危険です。私はかつて酔って上野毛の「稲荷坂」を上って大変な目にあいました。それはさておき、今回は玉川の坂の特集です。

稲荷坂

上野毛駅を出て環 8 を渡り多摩川方面へ下っていくあの坂です。写真だとなかなか急な坂に見えませんが、かなり急です。バスに乗っていて坂の途中で止まると運転手さんの坂道発進にドキドキします。坂の途中に稲荷神社、上野毛自然公園の入口があります。



まむし坂

坂がくねくね蛇のように蛇行しているからか、それとも昔は蟻の住処だったからまむし坂というのかよくわかりませんが意外と緩やかな坂です。坂の途中から伸びる写真右端の坂の方が急です。五島美術館裏口、ウルトラのロケでおなじみ瀬田隧道があります。



行火坂

勾配が急なため上っただけで体が熱くなるので「行火坂」といいます。確かに夏場は汗だくになります。セントメリーに通う学生たちは遅刻しそうな時はこの坂を駆け上るのでしょうか？この坂は別名「行善寺坂」といい、坂の上には「行善寺」「瀬田貝塚跡」があります。



瀬田夕日坂

行火坂を上り行善寺を越した次の角を左に曲がったところの坂です。可愛い表示が目印です。撮影日は曇りでしたが、ここからの夕日は本当に素晴らしく江戸時代から多くの文人墨客が訪れたのも納得です。



* てくたく刀サッチ #29 「大山道追分」用賀 3-74 *

江戸時代、相模の大山詣での人々が、毎日のように用賀を通っていた頃、この前の道に高さ 1m20cm 位の道しるべの石塔が建っていました。正面には庚申塔という字が刻んであり、右は江戸道、左は世田谷四谷道と書いてありました。建てられたのは、文政 10 年 (1827) で、当時、この三叉路の近くには、旅館や酒店、料理屋などいろいろな店が軒を並べ、用賀村の中心でとても賑やかなところでした。今、当時の道しるべであった庚申塔そのものは、世田谷区立郷土資料館の中庭に移されて展示公開されています。





慈眼寺坂

二子玉川商店街を抜けて環8の方に上っていく坂です。途中で一息ついてしまいます。



坂の途中に瀬田玉川神社の参道の階段、坂を上りきるとアントニオ教会があります。



玉川病院へ続く階段

この階段を上ると玉川病院に出ます。上っただけで血圧が軽く20くらい上がりそうです。なので検診に行く人はこの階段は使わないほうがいいと思います。でも散歩には最高です。瀬田4丁目広場と合わせて散歩することをお勧めします。



馬坂

元々の坂が急で馬がどうすることもできなかったため勾配の緩いこの坂が作られました。これなら馬もOKさ！（古っ）



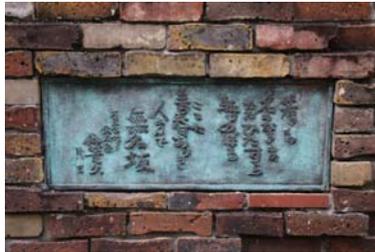
おんな坂

岡本八幡神社の横にある坂（階段）。歩いてみるとなぜか昭和初期にタイムスリップしたような感じになります。坂の上は静嘉堂の裏手になります。右の写真は反対側へ下りる急な階段。



無名坂

谷戸川から仲代達矢さん主宰の無名塾に上る坂。坂の名前も仲代さんがつけたそうです。



市川崑の病院坂

岡本1丁目、聖ドミニコ学園の北側に位置するこの坂はネット情報によると市川崑監督作品「病院坂の首縊りの家」のロケ地といわれているまっすぐ長く伸びている美しい坂です。映画と見比べると当時の面影はありませんが。

13度とかなり急勾配。嘗ては役所広司さんや滝藤賢一さんも上ったのでしょうか？

です。映画と見比べると当時の面影はありませんが。

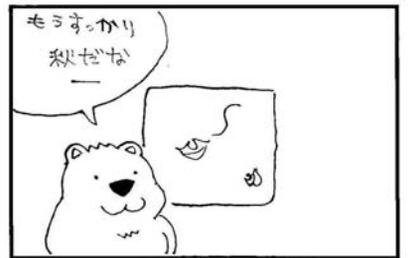


東京富士見坂

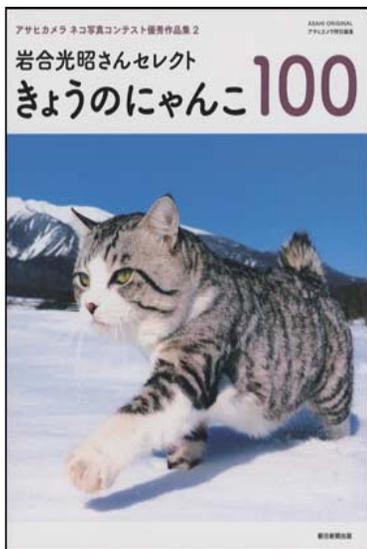
えっちらおっちら何度もこの坂を訪れていますが実は一度も富士山を拝むことができません。日頃の行いが悪いせいでしょうか？今冬は悲願達成したいと思っています。ここに立つとこの坂下にあった教習所での恐ろしかった坂道発進を今でも思い出します。



それ行け!! アサッチ



ご自宅まで配達します！2015年アサッチのオススメ本！10月



岩合光昭さんセレクト きょうのにゃんこ100

アサヒカメラ特別編集 定価:1026円(税込)

◆主な内容◆

「世界ネコ歩き」で人気の写真家・岩合光昭さんが<第2回アサヒカメラネコ写真コンテスト>の1700点を超える応募作から選んだ作品を一冊に。ネコ好き・カメラ好きによる珠玉の写真集。